

月刊 いっぽ

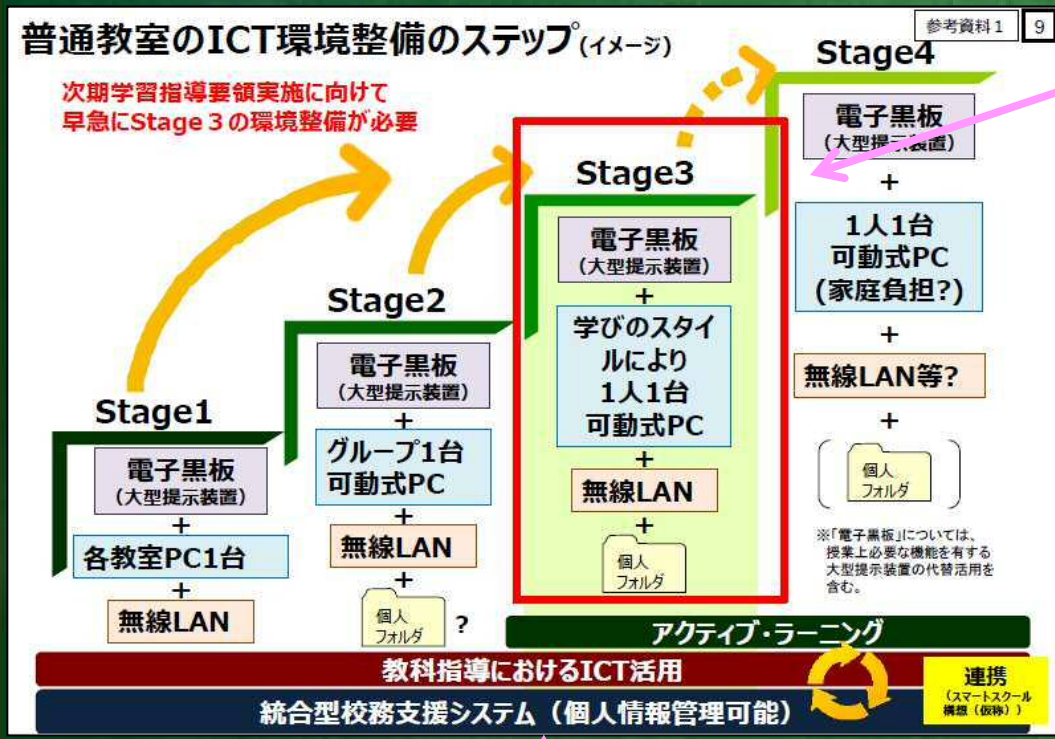
vol.16

2017年7月号



今月号は文部科学省が発表した「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」の概要をご紹介します。

7月10日(直) 吉良デンケン 拓哉




懇談会の中でStage3まで環境整備が必要と示されているので、まだ未整備のものに関しては早急に取り掛かからなければなりません。

8 教育委員会・学校の体制整備 (首長部局連携等) 産学官連携支援体制の構築

- ・産学官連携による教育委員会応援プラットフォーム (仮称) の構築
- ・責任部局や「教育情報化主任 (仮称)」等を通じた教育委員会・学校における専門性向上

また、環境整備だけでなく教職員の指導力向上や、地方公共団体や学校における支援体制の充実も検討されています。

校務支援システムは「統合型」を推奨しており、数年をかけて段階的な導入が想定されます。

もちろん「いっぽ」は統合型！ 

●「2020年代に向けた教育の情報化に関する懇談会」最終まとめ (文部科学省)
(http://www.mext.go.jp/component/a_menu/education/detail/_icsFiles/afieldfile/2016/08/09/1375325_04_1.pdf) を加工して作成

